

科目名	国際社会と人権 I						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	春学期	開講学部等	国際関係学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	須藤 瑞代						

授業概要／Course outline

現在の国際社会では、政府、企業、組織、個人に対し、「人権」の重視・尊重が求められる。本講義では、まず、このような国際社会における人権の普遍化がなぜ進んできたのかを考察する。続いて、国際人権規約など主要な人権条約をとりあげ、それぞれの意義と課題を検討する。さらに、国際人権と日本とのかかわりについて、また国際人権の普遍化が進む一方で残された課題、新たに出現した問題についても考える。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

90分程度のオンデマンド動画のURLをmoodleに掲示する。内容に関する質問はメール等で受け付ける。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 インTRODクシヨン：普遍的人権のルーツ

授業の進め方について全般的な説明を行う。普遍的人権のルーツとなった原理や思想について概要を学ぶ。

第2回 人権と国家（1）

なぜ人権を守ることが国家の大義となったのか、二つの世界大戦を経て、普遍的人権理念がどのように形成されていったのか、その過程について考察する。

第3回 人権と国家（2）

普遍的人権の追求は、他国で生じた人権問題への関心につながる。1940年代から1980年代までを中心に、他国への内政干渉肯定の原理が確立していく過程について考える。

第4回 国際人権章典 「教員-学生間の対話」の実施

世界人権宣言と国際人権規約が保証する人権の具体的内容および実施措置について学ぶ。またその限界や課題についても考える。

第5回 人身の自由と拷問等の禁止

人身の自由・生命の権利について、とくに拷問や死刑、強制労働という問題を通して考える。

第6回 人種差別の禁止と少数者・先住民族の権利

人種差別とその禁止について、また少数者、先住民族の人権について考える。

第7回 女性の権利とジェンダー平等

ジェンダー平等に向けて、国際社会ではどのような取り組みがなされてきたのか、女性の社会的地位向上や女性に対する暴力という問題を通して考える。

第8回 子どもの権利

現実には児童労働や飢餓・貧困など子どもが直面するさまざまな問題と、子どもの権利条約について理解を深める。

第9回 難民・移民の権利

難民・移民の人々が人権を脅かされる状況におかれやすい現状について理解し、難民条約や人権条約はどのような意義を持つかを考える。

第10回 障がい者・病者の権利

障がいがある場合、また病気になった際に直面しやすい人権問題について理解し、障がい者・病者の権利に関する人権の国際的な展開について考える。

第11回 国際人権と日本（1）人権運動

日本は国際人権とどのように関わってきたのだろうか。日本国内において行われてきた人権運動や、日本と国際人権機構とのかかわりについて考える。

第12回 国際人権と日本（2）人権外交

日本は海外での人権侵害にどのように取り組み、国際人権活動に対してどのような役割を果たしてきたのかを考える。

第13回 国際人権の実効性

国際人権はどれほどの実効力を持ち、現実はどう変わったか、さまざまな事例をとりあげて考察し、その意義と課題について総括する。

第14回 期末テストと授業のまとめ 「学習成果実感調査」の実施

第1～13回までの内容について重要なポイントを総括し、学習の習熟度を確認するテストを行う。

★オンデマンド テーマ：期末テストの解説・補足

期末テストの解説および補足をオンデマンド授業で行う。テスト実施後に90分程度のオンデマンド動画としてmodelにURLをアップロードする。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 イン트로ダクション

【事前学習】新聞記事等で、最近の人権にかかわるニュースについて調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第2回 人権と国家（1）

【事前学習】第一次・第二次世界大戦と、国際連盟・国際連合について復習しておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第3回 人権と国家（2）

【事前学習】人権外交について調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第4回 国際人権章典

【事前学習】世界人権宣言について調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第5回 人身の自由と拷問等の禁止

【事前学習】拷問や死刑、強制労働についてのニュースを調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第6回 人種差別の禁止と少数者・先住民族の権利

【事前学習】ヘイトクライムについてのニュースを調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第7回 女性の権利とジェンダー平等

【事前学習】世界経済フォーラム（WEF）の最新の「ジェンダー・ギャップ指数」を調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第8回 子どもの権利

【事前学習】子どもの貧困、児童労働についてのニュースを調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第9回 難民・移民の権利

【事前学習】難民・移民についてのニュースを調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第10回 障がい者・病者の権利

【事前学習】障がい者に対する差別・人権問題についてのニュースを調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第11回 国際人権と日本（1）人権運動

【事前学習】日本における人権運動について調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第12回 国際人権と日本（2）人権外交

【事前学習】他国における人権侵害について日本がどのような対応を取っているか、新聞等で調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第13回 国際人権の実効性

【事前学習】近年生じている紛争や戦争についてニュースを調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

第14回 期末テストと授業のまとめ

【事前学習】第1～13回までの授業内容を復習しておくこと。

【事後学習】テストをふりかえり、不明点を確認しておくこと。

★オンデマンド テーマ：期末テストの解説・補足

【事前学習】動画内容に関連する配布資料をよく読んでおくこと。

【事後学習】動画内で出された復習課題に取り組むこと。

※各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2,700分程度とする。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

国際的な人権の普遍化について、具体例をあげて説明することができる。
人権をめぐる問題の現状と課題について複数の事例から理解し、説明することができる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・主体性
 - ・倫理性
- 専門知識・専門技能

【国際関係学部 国際関係学科】

- ・ 国際関係の政治領域に関する知識
- ・ 学際的な分析力

評価方法／Evaluation

平常点（毎回課題の提出など）60％ テスト（期末）40％
＊ 授業内で課した小レポートや課題は、授業時に随時フィードバックする。

教 材／Text and materials

教科書は特に指定しない。
参考書：
筒井清輝『人権と国家 理念の力と国際政治の現実』岩波書店、2022年。
横田洋三編著、富田麻里・滝澤美佐子・望月康恵・吉村祥子著『新国際人権入門：SDGs時代における展開』法律文化社、2021年。
ほかにも講義ごとに関連する文献を紹介する。

質問や相談の方法／Instructor contact

質問は授業の前後およびオフィスアワーの時間を利用して対応します。
メールまたはteamsでの相談はいつでも受け付けます。
研究室：第6研究室棟416
連絡先：moodleに記載するメールアドレス